

Course number	U-LAS07 10007 SJ31				
Course title (and course title in English)	現代日本の社会問題 Social Issues in Contemporary Japan		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Part-time Lecturer, INOMATA YUSUKE	
Group	Humanities and Social Sciences		Field(Classification)	Understanding Japan	
Language of instruction	Japanese		Old group	Group A	Number of credits 2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters 2025・First semester
Days and periods	Thu.3	Target year	1st year students	Eligible students	International students
[Overview and purpose of the course]					
現代日本の社会問題について、人口構造・ジェンダー・雇用・社会階層に焦点を当てて、その歴史の変遷と現状を把握する。特に1991年以降の「失われた20年」において行われた国の構造改革や企業の経営合理化等の「改革」が、社会にいかなる歪みをもたらしているかを考える。					
[Course objectives]					
1. 現代日本の社会問題を、統計資料や公文書等を社会学の手法を用いて分析し、理解する。 2. 現代日本の社会問題を諸外国の社会問題と比較することで、現代日本社会の特徴を理解する。					
[Course schedule and contents]					
基本的に以下の順序で講義を進める。ただし講義の進み具合に応じて、講義の順番や回数を変更することがある。					
人口問題					
第1回 人口ピラミッドとその変遷					
第2回 少子高齢化社会の制度設計					
第3回 晩婚化・未婚化					
第4回 学生発表（本国との比較）・ディスカッション					
ジェンダー論					
第5回 家庭における役割分業：専業主婦・専業主婦志向					
第6回 女性の社会進出と諸外国との比較					
第7回 ジェンダー意識					
第8回 学生発表（本国との比較）・ディスカッション					
労働問題と若年層の社会参加					
第9回 非正規雇用・フリーター・ニート					
第10回 過労死・過労自殺					
第11回 引きこもり					
第12回 学生発表（本国との比較）・ディスカッション					
格差社会					
第13回 経済格差					
第14回 教育格差					
Continue to 現代日本の社会問題(2)					

現代日本の社会問題(2)

第15回 学生発表(本国との比較)・ディスカッション

[Course requirements]

日本語・日本文化研修留学生専用科目

[Evaluation methods and policy]

ディスカッションへの参加度(30%)および期末レポート(70%)

[Textbooks]

毎回プリントを配布する。

[References, etc.]

(References, etc.)

山田昌弘 『少子社会日本』 ISBN:978-4004310709

濱口桂一郎 『働く女子の運命』 ISBN: 978-4166610624

森岡孝二 『雇用身分社会』 ISBN: 978-4004315681

佐藤俊樹 『不平等社会日本』 ISBN: 978-4121015372

[Study outside of class (preparation and review)]

参考文献をもとに予習・復習してください。

[Other information (office hours, etc.)]

[Essential courses]